

事業所名:グループホームふくち

作成日:平成 24年 1月 26日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在センター方式を使用し、詳細にアセスメントしているが、アセスメントをするのに時間がかかったり、複雑なためまとめきれない事がある。	認知症の新しいアセスメントツールを導入し、よりご本人様にあったチームケアを行う。	認知症アセスメントツール(J-CPAT)を導入し、アセスメントやモニタリングを全職員で行う。	6か月
2	35	非常食など非常災害時の物品リストを作成し備蓄しているが、備蓄品の管理方法や使用方法など、全職員が周知できていないため非常災害時に適切に使用できるか不安である。	非常災害時における備蓄品の管理方法の取り決めを行う。	各物品についての管理方法の取決めを行い、文書を作成する。	1か月
3	35	非常食など非常災害時の物品リストを作成し備蓄しているが、備蓄品の管理方法や使用方法など、全職員が周知していないため非常災害時に適切に使用できるか不安である。	備蓄品の使用方法を全職員に周知する。	勉強会にて使用方法を確認する。	2か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。